

ひまわり

令和5年 5月号



↑カラー版はこちらから

「新年度が始まり2ヶ月が過ぎました。」

のびきって 夏至に逢ふたる 葵かな (正岡 子規)

この句の葵は、立葵(タチアオイ)を示しています。立葵は、梅雨のなかでぐっと背を伸ばして、太い茎、まっすぐ高く伸びた茎に赤、ピンク、白、黄色、オレンジのきれいな花を咲かせます。立葵の姿にぶれない力強さを感じます。

新年度が始まり2ヶ月が過ぎました。今月は数回、特別支援学校肢体不自由教育校の校長が集まり、コロナ禍以前の教育活動へ戻すより、新しく教育活動を作り出していくことになることを確認し、今後の感染症予防対策等の情報交換をしました。とりわけ、新たに5月初旬には感染力の強い麻疹への警戒も出てきています。肢体不自由教育校だからこそ、今後も都内及び隣接する県とも情報共有をしつつ感染症予防対策を継続していきます。そのなかで文科省や厚生労働省の動きを静観してまいります。

さて、一人一人の児童・生徒は学校生活に慣れ親しみ始めています。個人差はあるものの担任教員に対する表情や表出、身体の動かし方を含めコミュニケーションは増えてきています。そして、保護者様との面談や家庭訪問により、生活支援シートや個別支援計画が出来上がってきました。これによって一年間の見通しをもち、資質・能力を着実に伸ばしていくような教育活動へ繋げてまいります。

続いて、校医による健康診断もほぼ終了しました。小児診察療育相談、整形診察療育相談、摂食相談、等々を経て、保健室、担任で情報共有をいたします。トイレ介助や摂食指導、教科領域指導は、小・中学部の教員で共有し、日頃の指導に生かされています。

また、6月7日よりいよいよ水治訓練(プール指導)が始まります。教員の実技指導研や実施当日の着替から入退水の進行を想定した訓練も行われました。安全安心への配慮は、教室に待機する教員、プールサイドに待機する教員、水に入る教員間で共有していきます。

さらに、本校ならではの外部より講師を招聘しての特別授業も始まりました。26日(金)は2020東京パラリンピック・ボッチャ日本代表監督の村上 光輝氏による特別授業でした。本校でボッチャ競技体験は、体育の授業や区内公立小・中学校との副籍交流、あるいは都立永福学園との合同チームによる都内特別支援学校肢体不自由校ボッチャ大会への参加へ繋がる大切な時間です。もちろん自立活動として生かしていく面でも大切です。この授業の中で村上氏から、学校生活に生かせるエピソードの紹介がありました。

『日本初のボッチャ金メダル 杉村英孝さんは、実は筋力が弱くて球を掴むことが出来ないのに目標の白球(ジャックボール)へピタピタっと自球(パワーボール)を寄せます。これは冷静な判断の持ち主でなければ出来えないものです。杉村さんの冷静な判断を支えているのは、規則正しい生活と食事(栄養)と睡眠の質への配慮が力になっています。』と話してくれました。また、私たちの健康維持や学習意欲を支えるために学校給食は大切なんだといった話をいただきました。

最後に6月は梅雨入りとなります。気温は19℃~26℃とすでに温かい時期ですが、日照時間が少なく曇りや雨が多いため、肌感気温が低めとなります。保護者、地域、関係機関の皆さま健康にはご自愛ください。また、本校の教育活動へこれからもご支援のほどよろしく願いいたします。

校長 門脇 伸也

立葵の写真



「はたらく消防写生会・見学会」

図工・美術科

5月2日（火）に「はたらく消防写生会・見学会」を行いました。当日は新宿消防署の消防士の方々と、地域の消防団員の方々が来てくださいました。消防士の方のお話を聞いた後に、エントランス前に集合した「ポンプ車」「救急車」「消防団の車」を間近に見て触ったり、実際に乗ってみたいしました。防火衣やヘルメットを着せてもらい、消防士になりきってポーズをとる姿や、車の装置に興味深く観察する姿が印象的でした。

この体験を通して、各グループの授業で消防車や消防士の絵を描いていきます。素敵な作品ができることを楽しみにしています。



「新入生歓迎会 ～ようこそ！新宿養護学校へ～」

特別活動担当

5月19日、全校児童・生徒が体育館に集い、児童・生徒会が中心となって新入生歓迎会が行われました。新入生が楽しく学校生活を送っていけるよう、各クラス・学部、先生方からダンスや合奏、ミュージカルの贈り物をしたり、小学部を中心に作製したメダルをプレゼントしたりととても楽しい雰囲気で行われました。最後に全校で「ひまわりサンバ」を踊った際には、学年を越えて友達と一緒に踊っている姿も見られ、あたたかい会となりました。

改めて新入生のみなさん、ようこそ新宿養護学校へ！



新入生自己紹介の様子



副校長先生から楽器と歌の贈り物